

## 中部地区会開催

平成24年2月24日、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて、中部地区会（代表幹事：松尾榮一、(株)中電シーティーアイ代表取締役社長）が50名の参加を得て開催された。

冒頭、松尾代表幹事から、来賓及び会議のスケジュールの紹介があり、大震災から1年が経ち、日本経済全体が六重苦を余儀なくされている中で情報サービス産業も大変厳しい状況にある。また、当業界は構造的な変革期を迎えていることに加え、BCP対応、サイバー・セキュリティ等、多くの課題を抱えている。本日の会議が業界の環境改善の一助になれば幸いである旨の挨拶があった。

続いて、岡本晋副会長(中部地区会担当)から、リーマンショックの前、名古屋が日本で一番元気であったが、リーマンショックにより非常に大きな影響を受け、さらに、昨年の大震災では、日本中が大変な試練に見舞われた。最近は円高の影響を受けながらも名古屋の産業界は、この一年間で着実に復興していると感じており、この状況乗り越えて新しい名古屋をつくっていく産業界の人々の意気込みが我々を力づけている。情報サービス産業でも名古屋は大きな力をもっているところであり、本日は中部地区の力強さを感じて東京に戻りたいと挨拶された。

中部経済産業局地域経済部次長・山田良明氏から、中部経済産業局では、「中部八ヶ岳構造創出戦略」を掲げ、地域の特性や強みを活かした地域オリジナルの成長戦略を展開し、新たな成長に向けた開発、生産、雇用を促進しているところであるが、この戦略にもITの分野が重要な役割を担っていると挨拶された。

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課係長・浅田光博氏から、融合新産業の創出策を始めとする最近の情報政策の概要及び社会におけるITの役割とニーズの変化、クラウドコンピューティングが変える生活の将来像等、ITの現状と今後について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向（JISA基本統計2011、DI調査、特サビ動態統計等）の説明の後、JISA Awards2012の受賞者、CO2削減自主行動計画、電力需給対策、集团的消費者被害回復に係る訴訟制度、社会保障・税番号制度等最近のJISA活動状況に関する報告があった。

休憩を挟んで、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の堀内貴史氏による「宇宙開発と私たちの生活～身近な宇宙～」と題しての講演が行われた。

堀内氏は、通信衛星「きずな (WINDS)」の地上システム開発に携わり、打ち上げ後は「きずな」の運用業務、関係機関との「きずな」を利用した通信実験等に從事されており、JAXAの宇宙開発及び自動車や医療等、我々の生活に利用されている宇宙技術について紹介し、東日本大震災では、地球観測衛星を用いて画像提供等を行った旨説明された。

(菊池)